

街道を歩く

中山道：平岩一津橋一御嵩（井尻）



耳神社

耳の病に霊験があるという、神社にある錐を借りていき治ったら年の数だけの錐。
(模造でもよく)で編んだ簾を奉納すべしとか
安産にもご利益があるとか。



謡坂石畳



謡坂一里塚



十本木立場跡



”ひとりさえ 渡れば沈むうき橋に
あとなる人は しばしとどまれ”
平安時代の女文学者”和泉式部”
没した伝承地。
この地に遊びに来て病を得て塩谷湯
(鬼岩温泉)で湯治したが逝く。
石塔は江戸中期推定。



昭和56年農道拡張のとき墓地の
一角から十字架の刻まれた石が
発見。近くから隠れキリシタンの
遺物出土。現在聖マリア像、平和の聖地。



山内嘉助屋敷跡



左中仙道右西の坂
”旅人の上り下りや西の坂”
歌碑道標



石窟の中の
秋葉坂三尊



御嵩

牛の鼻欠け坂

岩盤を削った急な曲がり坂往來する
牛馬の鼻が擦り切れるほど難儀した
と言う坂、観音坂ともいわれている。

唄清水

”馬子唄の響きに波たつ
清水かな” 五歩
の句碑が立つ、”一呑み清水”
とともに岐阜県の名水に指定されている。

七御前遺跡
(マリアの里)

十本木立場跡

一呑の清水

和宮が下向のとき飲まれる
後上洛のとき多治見の永保寺
に取り寄せて飲まれたという。

謡坂御殿場跡

和宮が下向の際御殿を造って
休憩された場所。

慶長9年2月一里塚が造られる、その近くに
10本の松があった事から十本木の立場と言われる
安藤広重の浮世絵 木曾街道”御嵩”のモデルの地
とされている。

山内嘉助屋敷跡
石垣が今に残る

津橋薬師堂
お堂の絵天井、庚申碑、石燈籠

ふじあげ坂

鴨の巣一里塚

日吉辻
旧鎌倉街道へ出る道



一呑の清水



謡坂御殿場跡



津橋薬師堂